

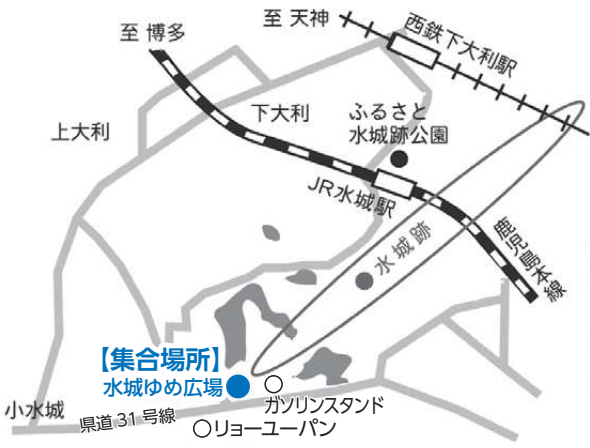
史跡めぐり「水城をあるく」

水城跡は、築造から1350年を越える古代の防衛施設です。国の特別史跡に指定されており、また、市街地に残る貴重な緑地でもあります。ぐるっと水城跡をめぐり、雄大な歴史に触れてみませんか。

●日時 6月2日(土) 午後0時半～5時(午後0時10分 集合)

※当日午前7時前のNHK天気予報で降水確率60%を超えた場合は中止します。不明の場合は市コールセンター(☎501)2211へ問い合わせてください。

●集合と解散場所 水城ゆめ広場(下大利5丁目、リョーユーパン向い側)



●主な行程 水城ゆめ広場↓推定望楼跡・思水園跡↓西門跡↓ふるさと水城跡公園・土塁断面ひろば↓瓦窯跡↓東門↓水城館↓父子嶋↓小水城ゆめあかり広場↓水城ゆめ広場

●定員 20人(先着順)

●参加費 無料

●持ってくるもの 水筒

※動きやすく、汚れてもよい服装・靴で来てください。

●申込期間 5月18日(金)～25日(金)

●申し込みと問い合わせ先

ふるさと文化財課啓発・整備担当(心のふるさと館内)
☎(558)2206

あけてみよう！歴史のとびら
トレイルで発見！
大野城市の見どころ
〈106〉

▲大野城心のふるさと館から新川へ▼
7月21日(土)に開館する大野城心のふるさと館の周辺は、江戸時代には太宰府往還が通り、往還沿いには人家が並んでいました。大野城トレイルは市内に点在する自然や文化・歴史などを7つのテーマに分けています。その一つとして、心のふるさと館を基点として、太宰府往還などを通る総延長約7kmの「往還とにぎわいルート」が設定されています。

心のふるさと館からまどかぴあを左に見て大文字公園の方へ向かうと、牛頸川を渡る橋の手前で左手に緩やかに曲がる道があります。ここから北へ向かい、およそ800mに渡り、道路に沿って緑地帯が整備されています。ここは江戸時代、米を運ぶための運河が通された跡を整備したもので、この運河は新川と呼ばれていました。

新川は、福岡藩でも筑後川流域からの年貢米を水運により運ぶため、筑後川から博多まで運河を通す工事が寛文3年(1663)に着工されました。この際の工事は翌年に中止されましたが、寛延二年(1749)には、二日市から吉松↓下大利↓瓦田↓雑餉隈↓麦野↓住吉↓川端に至る

ルートに変更されて工事が行われ、寛延4年(1751)に竣工し、運航を開始しました。

新川は、完成後しばらくの間は米などを運ぶ船が運航されたようです。運航にあたっては、二日市や博多に米蔵や船着場が整備され、運賃表も定められています。

開削からさまざまな労苦があった新川ですが、水量が乏しく船が川底につくような状況であり、手間がかかり過ぎることから、運航開始からおよそ10年後の宝暦12年(1762)に運航を停止しました。その後、新川跡は農業用水路などに使われ昭和40年くらいまでその名残が残っていました。現在は埋め戻されて緑地帯となっています。

この緑地帯を通って、トレイルは県道112号線を北上した後、春日原へと向かいます。トレイルの各地点の看板には、大野城まちあるきアプリ「ジョークエスト」でポイントが獲得できるQRコードがついていますので、スマートフォンを持って散策してみてください。

※QRコードは、(株)デンソーウェブの登録商標です。

●問い合わせ先
ふるさと文化財課啓発・整備担当(心のふるさと館内)
☎(558)2206